

お客様の声

立派な会社になるよりも、ビリでよいから社会にお役に立つ会社を目指して



株式会社タナカテック
代表取締役 田中 稔氏

住 所 ●京都市南区吉祥院池の内町47番地
TEL ●075-681-8741
FAX ●075-681-8743
URL ●www.kyoto.zaq.ne.jp/tanakatec/
業 種 ●工業用乾燥炉等の設計～製作・据付

●事業の現状をお聞かせください

当社はもともと薄板の製缶・鍍金加工（部品加工）を行っていましたが、バブルの崩壊、ASEAN諸国の台頭等により価格競争が激化し、売上げが伸び悩み、利益が出にくくなってきました。

それを打破するためにはどうすれば良いか考え抜いた結果、お客様からの要望もあり、部品だけの提供ではなく、完成品まで一括して受注するようにしました。現在は、設計～製作～据え付けまで行っています。また、当社のノウハウを活かせる「熱」、「乾燥」という分野に特化したものづくりを「売り（強み）」にしています。

当社の乾燥炉等は、素材メーカーの生産ライン、また、フィルム、環境関連などの生産工程にも使われ、現在は非常に多くの仕事をいただいております。

●モノづくりに対する思いやこだわりなどについてお聞かせください。

当社のものづくりは、ひとつひとつ積み上げていく仕事で、目立たない地味な仕事です。しかし、当社のつくった製品が5年、10年後にも現場で稼働しているのを見たらうれしくなり、生きがい・やりがいを感じます。

当社はもともと技能者がたくさんいましたので設備をNC化して量産するのではなく、その技術（人）を活かすように一品一様の製品づくりを心がけてきました。その結果、付加価値が向上しました。なんといいましても最後は「人」だと思えます。

●経営理念についてお聞かせください。

当社は強い誓いということで、経営至誠という言い方をしています。「弊

社は社会に役立つ人づくりをめざす企業であること」を掲げています。
◇企業は利益を出すだけが目的ではなく、社会に役立つことが目的である。

◇利益は企業が生きていく上で必要なものである。

社員には常に「立派な人、えらい人にならなくても良い、お役に立つ人になろう。」と言っています。

私自身、勉強会などで「お金儲け」というより「人生の道を求めて」といった方々との付き合いが多くなってきたこともあり、自分だけ良かったら良いというのは間違いだと60歳になって改めて実感しています。地球環境や次世代の子供のために と強く思うようになりました。

●設備貸与制度を活用されているかですか。

私は「ご縁（つながり）」を大事にしていくことを信条としています。当社と京都産業21とは、振興公社時代からの長い付き合いあいです。設備の導入は、京都産業21の貸与制度と決めています。直近の設備導入はCAD/CAMと溶接機です。担当職員の方とはお互い気心も知れていますし、当社の事業を熟知してもらっています。これから導入する大がかりな管理システム（コンピュータシステム）も京都産業21に願います予定です。この制度には大いに助かっています。

●今後の事業展開・抱負などお聞かせください

経営に対する私の基本的な姿勢は、「好景気の時に儲けることより、不景気の時にいかに赤字を少なく出来るか」というものでした。しかし、後継者のことを考えているうちに、いいものさえつくっていれば仕事があるといった消極的な考えから、当社が培ってきたノウハウやスキルをもっとアピールして、次に展開して行く仕事の種を蒔かなくてはという考えに変わってきました。

そのために新しい顧客の開拓も行っているところです。また、現在、大学や企業間連携を組んでいます。いろいろ勉強して新しい事業の展開も図っていこうと思っています。



【お申し込み・お問い合わせ先】

（財）京都産業21 産業振興部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-315-9240
E-mail:setubi@ki21.jp



TOSE SOFTWARE

地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから

モバイルコンテンツまで

多彩なデジタルエンターテインメントを
創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営

グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA,Inc.

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉



受発注あっせんについて

このコーナーについては、産業振興部 マーケティング支援グループまでお問い合わせください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

マーケティング支援グループ TEL.075-315-8590 (本情報の有効期限は5月10日までとさせていただきます)

—本コーナーに掲載をご希望の方は、上記マーケティング支援グループ(担当:廣田)までご連絡ください。掲載は無料です。—

発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	発注案件							
				必要設備	材料等	数量	金額	支払条件	希望地域	運搬	備考
機-1	自動化・省力化機械部品の切削加工・板金加工(アルミ、鉄、ステン等)		京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎用・NC旋盤、MC等関連設備一式		多品種小ロット (1~100個) 話し合い		床日/翌月粗払 10万円超手形 120日サイト	近畿圏	受注側 持ち	材料支給無し、 継続取引希望
機-2	自動化機械のAutoCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	AutoCAD		話し合い 話し合い		床日/翌月粗払 10万円超手形 120日サイト	近畿圏	受注側 持ち	継続取引希望
機-3	LPガス用バーナーキャップ(真鍮)	切削加工	大阪府守口市 4000万円 70名	関連設備一式		話し合い 話し合い		20日/翌月15日支払 手形60% 120日サイト	不問	受注側 持ち	材料支給無し、 継続取引希望
機-4	精密小物部品(アルミ、SUS、鉄)	汎用旋盤・汎用フライス加工	京都市上京区 1000万円 34名	汎用旋盤、汎用フライス他		1~10/lot 話し合い		20日/翌月20日支払 全額現金	不問	話し合い	自社にて加工できる工場を希望、 継続取引希望
機-5	精密部品の切削加工(ABS樹脂)		京都市伏見区 500万円 18名	小物NC旋盤他		100~200個 /回 話し合い		月末日/翌月末日支払 全額現金	不問	受注側 持ち	材料支給無し。
機-6	精密機械部品(ステン・鉄・アルミ)小物~大物	切削加工	京都市南区 1000万円 20名	MC、NC旋盤、NCフライス他		話し合い 話し合い		月末日/翌月末日支払 全額現金	不問	受注側 持ち	材料支給無し。 継続取引希望。
織-1	ゆかた、ねまき(単衣用)、木綿・合成繊維	裁断~縫製~仕上(ミシン縫製)	京都市上京区 1000万円 8名	関連設備一式		話し合い 話し合い		月末日/翌月末日支払 全額現金	京都・滋賀	片持ち	

受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工(生産)品目	地域 資本金 従業員	主要設備	月間の希望する金額等	希望する地域	備考(能力・特徴・経験等)
機-1	省力自動化装置のCAD設計~製作~組立		京都府福知山市 個人 1名	NetVistaA30P、PCG-XR9F、JetPro560、CAD SUPER FX他	話し合い	不問	経験20数年 単純な作業、精度を要求される作業、危険な作業等の自動化に貢献します。
機-2	産業用機械部品の小物MC加工(溶接加工対応可能)、アルミ・SUS・鉄他		京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話し合い	京都・滋賀・大阪	
機-3	車輛・工作機械等のピン・ボルト類の専用自動機での製作(φ8~20、長さ25~120mm)両端タップ加工可能(SUS・SS等ピン素材)		京都府綾部市 500万円 11名	専用自動機	話し合い、 量産希望	京都・滋賀・大阪	材料自己調達、 運搬可能
機-4	金属製品の粉体塗装・焼付け塗装		京都府宇治市 1000万円 3名	塗装ブース3500×3000×3600、乾燥炉2340×2500×1800、粉体塗装機、ホイスト、フォークリフト他	話し8合い	京都府南部地域・滋賀県	経験33年
機-5	半導体関連装置部品・電機部品の精密機械加工・精密金型設計製作(アルミ、ステン、鉄、銅他)		京都府久御山町 300万円 7名	縦型MC、フライス、成形平面研削盤、自動プレス(25~80t)、縦型スケールミル、タッピング、投影機、CAD/CAM他	話し合い	京都府内	経験30年 お客様のニーズを取り入れた金型の設計製作から金型の部品加工または機械加工においても全て内部で行います。
機-6	産業用ロボット・自動制御装置の設計~加工~組立		京都府久御山町 300万円 6名	関連設備一式	話し合い	京都府内	運搬可能

遊休機械設備コーナー

Facility

機-7	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン挿入、ソレノイド加工、シールド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、ソレノイド、電線、コネクタ、電子機器等の組立	京都市下京区 300万円 80名	全自動圧着機、半自動圧着機、全自動圧接機、半自動圧接機、アプリケーション、導通チェッカー他	小ロット(試作品)~大ロット(量産品)	不問	経験30年 国内に十数社の協力工場を含む生産拠点を有し、お客様のニーズに応じたスピーディーで低コストかつ高品質の製品を提供。
機-8	精密機械加工(アルミ、鉄、ステン、チタン他)	半導体関連装置部品、包装機部品等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD/CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品~量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-9	ユニバーサル基板、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		京都市伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品~小ロット	京都府内	経験32年 性能・ノイズ対策を考えた組立、短期間に対応、各種電子応用機器組立経験豊富
他-1	製品の広告、デザイン、販促、マーケティング等企画制作	パンフレット、カタログ、DM、会社案内、HP、広告企画	京都市中京区 1000万円 5名	コンピューター、レーザープリンタ、スキャナ、コピー他関連設備	話合い	不問	製品をいかに多くユーザーにコミュニケーションするかを、高品質なデザイン制作とマーケティング戦略の両面から決裁を低価格で提案します。

遊休機械設備の紹介について

このコーナーについては、産業振興部 マーケティング支援グループまでお問い合わせください。
当財団のホームページにおいても掲載しています。
なお、紹介を受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。
マーケティング支援グループ TEL.075-315-8590

*財団は、申込みのあった内容を情報として提供するのみです。価格等取引に係る交渉は直接掲載企業と行っていただきます。

売りたいコーナー

No.	機械名	形式・能力等	希望価格
001	NC油圧三ツ爪パワチャック(2台)	松本機械工業(株)、HA5-6(V)M、6インチ(M40)	話し合い
002	NC油圧三ツ爪パワチャック	北川鉄工、森精機用、11インチ(M40)	話し合い
003	ミーリングドリリング	ハマテック(株)、GH-3M	話し合い
004	スラックスシーム割プレス	ナオモト、NP-180	20万円
005	サージングロックスタッカー付	ジューキ、MO-2500、コンプレッサー付	20万円
006	ダイヤモンドリル	シブヤ、MD913、100V15A、2段変速、湿式、Aロット、(付属)コアドリルφ125・160・180・110・78・75・55、シャフト300mm	85千円(交渉可能)
007	メタルソー(高速丸鋸切断機)	(株)村橋製作所、VX-125、φ125、(付属)メタルソー4枚標準部品	話し合い

買いたいコーナー

No.	機械名	形式・能力等	希望価格
001	マシンバイス	ツダコマ、VG-125、1990年以降製造、(付属)Tスロットボルト・ナット、ガイドブロック14×12	話し合い
002	自動圧着機	各社アプリケーションが搭載できること。(付属部品)ホルダ・ラムボルト・締付金具等あれば良い。美品希望。	話し合い
003	スクロールチャック4爪	メーカー不問、一体硬爪タイプ、4インチ、ハンドル付	話し合い
004	平二本(三本)フセ縫い(1~2台)	ペガサス、WS-62-3クラス	話し合い
005	半自動アーク溶接機	メーカー不問、できれば2000年以降製造	話し合い
006	ホットマーカ-	メーカー:CTK、SP3000	話し合い

平成18年度 京都府中小企業技術センターの事業

京都府中小企業技術センターでは、課題解決に向けた技術相談・支援、技術基盤強化の推進、研究開発の推進と開発支援により、中小企業の皆様の成長発展を支援しています。

本年度においては、技術力を生かして企業の皆様への支援強化を図り、顧客視点での迅速・柔軟かつ効果的サービスを提供するため、下記の事業を重点として積極的に取り組んでいきます。

I 産業支援センターとしてのワンストップ支援体制の強化

総合相談窓口機能の充実

経営・技術両面のワンストップ支援体制を強化し、中小企業のあらゆる相談をサポートするため、財団法人京都産業21と設置した総合相談窓口機能の充実を図ります。

財団法人京都産業21との一体的支援の推進

財団法人京都産業21と一体となって、中小企業をサポート情報等を広く発信し、情報提供機能の向上を図るとともに、技術顕彰や経営革新に際し、調査や評価等を通じた技術面からの支援を行います。また、新たな経営課題に挑戦していく意欲的な企業に対して、産業支援センターの一翼を担う財団法人京都産業21とともに、迅速かつ効果的な支援を行います。

II 企業の技術基盤の強化支援

依頼試験や機器貸付によるものづくり支援

中小企業等における固有技術への対応・製品開発や品質向上を支援するため、依頼による試験・分析・計測等を通じ、技術的アドバイスをを行うとともに、企業の技術者が自ら試験・評価等を行えるように機器を開放し、中小企業発展のベースとなるものづくり技術をしっかりと支えていきます。

京都ものづくり基盤技術の高度化支援

卓越した基盤技術を有する中小企業が京都のものづくりの強みの源泉であり、各種製品の軽薄短小化や高性能化に伴い、更なる技術の高度化が求められています。「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律（仮称）」の制定を視野に入れながら、ものづくりの基盤となる技術の高度化を目指す中小企業の支援を行います。

研究会・セミナー等による人材育成

各技術分野において、研究会やセミナー等を実施し、技術者の技術力、製品開発力等の向上を図ります。

企業ニーズに基づく研究開発の推進

新たなチャレンジを行う中小企業等に役立つ技術課題について、企業や大学と当センター職員による共同研究10テーマ及び業界ニーズに基づく開発研究等5テーマを実施し、成果の業界普及を図ります。

環境創造型企業支援事業

欧州有害化学物質規制（RoHS指令、WEEE指令）等の国際

的化学物質規制への対応、環境ISO14001等環境管理規格への対応、企業の環境への取組みをビジネスにつなげるための対応、省エネ等地球温暖化対策への取組みを支援するため、セミナー・講習会の開催による情報提供やインターネットによる相談、技術的支援を行います。

電磁環境適合性(EMC)国際規制対応支援事業

電気・電子機器関連業界では、欧州、米国を始め、中国、韓国など全世界で実施されているEMC(電磁環境適合性)規制や国内での規制をクリアしないと国内外で製品を販売できない状態にあります。

そこで、校正(標準化)した計測機器と電波暗室を提供して関連業界が各種規制を効率的にクリアできるよう支援します。

産業デザイン活用推進事業

商工業全般にわたる企業や団体などが抱えている様々なデザインの課題の中からデザイン開発のケーススタディとして適切なものについて、産業デザイン手法を活用し具体的な解決に取り組み、そこで得られたデザイン開発の過程及び成果を、産業デザインの導入・活用のケーススタディとしてとりまとめ、広く普及を図り産業デザインの活用を促進します。

III 京都産業の新事業展開支援

新産業創出支援への技術的支援

「京都産業活性化プラン」及び「産学公連携の促進による新産業の創出プラン」に基づく、中北部地域のものづくり産業振興プロジェクトの推進、環境関連産業の育成、中小企業の第二創業や創造的中小企業の育成について、技術面からの支援を行います。

IV 産学公連携の推進

産学公連携等による技術開発支援事業

企業の新製品・新技術開発を目的とした提案公募型研究開発の産学公コンソーシアムのコーディネート・編成を支援し、公募事業への応募・共同研究を推進します。

学研都市研究シーズ活用・連携事業

新事業・新産業創出を実現するため、優れた研究シーズを有する学研都市の研究機関・大学と企業の出会い・交流の場を提供することにより、産学公連携等の促進、技術交流と人的ネットワークの形成・拡大を図ります。

なお、平成18年度事業については、当センターホームページ (<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/>) でも、今後、お知らせしますので、ご利用ください。

京都品質工学研究会入会のご案内

～タグチメソッドで技術革新を～

高品質と高生産性を同時に実現するための技術的方法として品質工学がこの十数年間で大きく注目されるようになってきました。企業における実際の技術課題への品質工学の適用研究や品質工学の成功事例の学習などを行うことにより、経営改善に役立つ開発力向上を目的とした研究会を開催します。新会員で初心者の方には別途基礎学習会を開催し、最初の定例会は、発足会として5月18日(木)に開催の予定です。多数の方々のご入会をお待ちしています。

■品質工学とは

欧米では「タグチメソッド」として有名な品質工学は、技術開発・製品開発、生産工程設計などを効率よく進めて生産性を向上させ、また、製造上のトラブルや市場クレームのない低コスト製品を実現する技法です。品質工学は幅広い分野に応用が可能で、近年、パターン認識などの分野にも応用が広がっています。我が国の多くの製造業等で活用され、経営改善に大きな成果が出てきています。

■京都品質工学研究会

平成7年から研究会を開催し、毎年約30社40名程度の会員により、毎月1回、具体的な技術課題についての実験計画や実験の評価などについて研究・討論を行っています。参加型の研究会を目指しています。

■平成18年度研究会

- 1 内 容** (1) 会員企業の技術開発・製品設計課題に関する実験計画・評価法の研究討
論及び課題指導
(2) 専門講師による講演
(3) 品質工学適用事例、テキストなどの解説・学習
(4) その他(基礎学習会、相談会など)
- 2 開催期間** 平成18年5月から平成19年3月まで
- 3 開催日時** 年11回、原則として毎月第2木曜日(13:10～16:40)に開催
(初心者対象の基礎学習会は6月13日(火)・20日(火)に開催)
- 4 会 場** 京都府中小企業技術センター ほか
- 5 定 員** 40名程度
- 6 会の運営** 若干名の幹事をおき、運営内容等について協議・企画します。
- 7 会 費** 17,000円/1人
(ただし、(社)京都経営・技術研究会会員は 14,000円/1人)
(社)京都経営・技術研究会が指定する口座に払込んでください。
- 8 申込方法** 次の申込先あてFAX 又は郵送によりお申込みください。
当センターホームページ(<http://www.mtc.pref.kyoto.jp>)からもお申込みができます。
[申込先] (社)京都経営・技術研究会
〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館5階
電話:075-312-0418 FAX:075-312-0425 E-mail:kmt-soc@mail.joho-kyoto.or.jp
[申込締切日] 5月11日(木) ※年度途中の入会も可能です。



第1回の定例会

- 日 時** 平成18年5月18日(木) 13時10分～
- 場 所** 京都府中小企業技術センター 5階研修室
- 内 容** 発足会
特別講演「品質工学活用のポイントと成功事例」
コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株) 機器開発本部 プロセス改革推進部 マネージャー 芝野 広志 氏
品質工学は、製品開発や技術開発の効率向上に多大な効果を発揮しますが、その考え方や使い方を十分に理解しないと、効用が期待できません。本講演では、活用ポイントと成功事例についてご説明します。

基礎学習会(初心者対象)

- 日 時** 平成18年6月13日(火)・20日(火) 10時～17時
- 場 所** 京都府中小企業技術センター 5階研修室
- 内 容** 品質工学の基礎概念とパラメータ設計

※研究会の詳細はホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/kenkyukai/hinsitu/index.html>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術室 化学・環境担当

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497
E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.jp

丹後地域水産資源の利用に関する研究 ～海藻（ホンダワラ）の利用に関する研究～

応用技術室 食品・バイオ担当 河村眞也、野田正司※、原口健司
※現在 府営水道事務所水質管理センター勤務

【はじめに】

近年、資源の有効利用への関心が高まってきており、地域資源の利用が望まれています。京都府北部の日本海等には海藻のホンダワラが生育し、このホンダワラによって形成される藻場は多くの水産生物にとって繁殖・生育の有用な場となっており、京都府立海洋センターではホンダワラの人工種苗を用いた養殖実験を行っています。

丹後地方ではこのホンダワラは「ジンバ」と呼ばれ古くから一部の地域でつくだ煮等として食用されてきましたので、藻場としての利用とともに、食用への利用も期待されます。そこで、ホンダワラの栄養成分等の測定及び食品素材としての利用に関して検討を行いました。

【実験方法】

(1) 成分調査:ホンダワラを次の2種類の方法で乾燥し、分析に供しました。

- ①採取後、水洗いし、天日で2日間乾燥したものを70℃で3時間熱風乾燥したもの（熱乾燥試料）
- ②採取後、沸騰水で数十秒湯通しした後、凍結乾燥したもの（凍結乾燥試料）

(2) 試作品の作成:熱風乾燥したものを粉砕し、食品への利用を検討しました。

【結果】

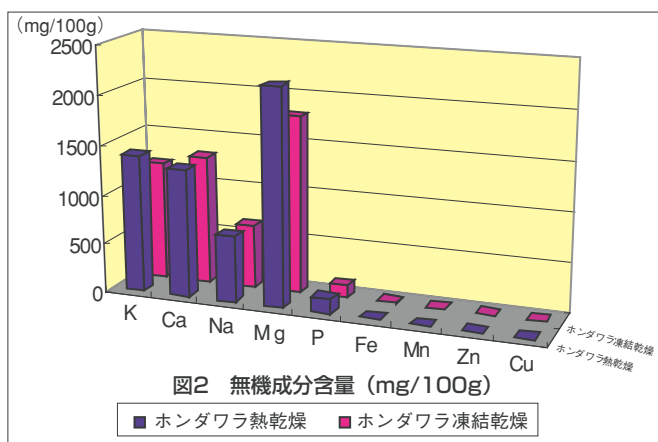
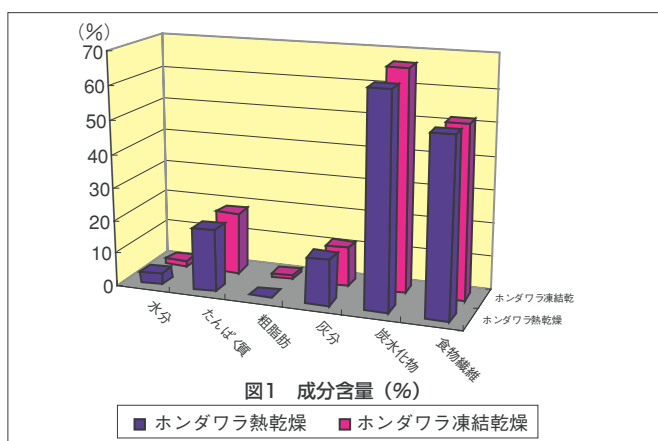
熱乾燥試料及び凍結乾燥試料の一般成分及び食物繊維を定量したところ、図1に示すように食物繊維が多く（熱乾燥試料52.7%）、粗脂肪（熱乾燥試料0.4%）が少なく、同じホンダワラ科のひじき（食物繊維43.3%、粗脂肪1.3%）と同様の傾向でした。熱乾燥試料と凍結乾燥試料における成分含量の大きな差は認められませんでした。

次に無機成分を定量したところ、図2に示すようにマグネシウムが多い（2200mg/100g）のが特徴でした。同じホンダワラ科のひじきの620mg/100gと比べても約3倍含まれていました。

また、遊離アミノ酸を定量したところ、アスパラギン酸、スレオニン、グルタミン酸、アラニン、リジンがわずかに含まれていました。

食品素材としてうどん等への利用を検討し、ヨモギ様の色合いの麺等をつくることができました。

ホンダワラは食物繊維、マグネシウムを豊富に含む食品素材として、また、緑色を呈しているため、緑の色づけに使用できると思われました。



うどん 左：小麦粉のみ 右：ホンダワラ入り

※研究の詳細はホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/gihou/giho-33/giho33.htm>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
応用技術室 食品・バイオ担当

TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497
E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.jp



技術相談、機器活用事例の紹介

京都府中小企業技術センターでは、技術相談や企業の方が自ら機器を操作して試験・評価が行える機器貸付制度等による技術支援を行っています。今回は、食品・バイオ技術関連の技術相談・機器活用事例をご紹介します。

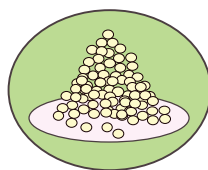
活用事例1 <凍結乾燥機>

府内のA社では、機能性タンパク質を食品素材として利用することを検討していました。大量の機能性タンパク質を抽出・精製する技術は確立していましたが、扱いやすい食品素材にするためには、タンパク質の機能を損なわずに効率よく乾燥する必要があります。

このような場合には、試料を加熱せずに乾燥できる真空凍結乾燥が一般的に用いられています。



凍結乾燥機
(機器貸付:200円/時間)



凍結乾燥処理



試験的に少量の凍結乾燥を行い、活性等を測定。問題のないことを確認。

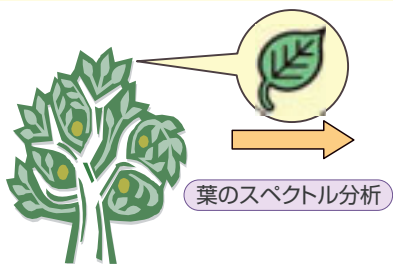
このように工業的スケールでの乾燥を行う前に、少量での乾燥試験を行い、製品の性状や機能性などの基礎データを得ることが重要です。今回の事例では、得られたデータをもとに工業的スケールでの乾燥へスムーズに移行しました。

活用事例2 <近赤外分光装置>

京都府の丹後農業研究所では、京のブランド産品であるナシ「京たんご梨」の安定生産を目的として、樹体養分とナシ品質との関係を調査しています。樹体の養分状態から、生育に応じた最適な施肥を行うことで、品質収量が向上・安定し、ブランド品率も向上します。

当センター設置の近赤外分光装置を用いて、生育期間中のナシの葉の近赤外スペクトルを測定し、窒素、水分等のナシ樹体養分との関係を調査しています。

将来的には農場で瞬時に養分状態を分析できる簡易測定器の開発によって、適切な肥培管理が行えるシステムの構築が期待されます。



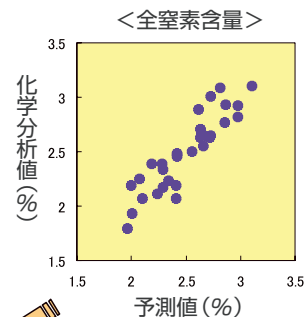
京のブランド産品
「京たんご梨」



近赤外分光分析装置
(機器貸付:1300円/時間)



スペクトルと化学分析値との関係を解析



簡易測定器の開発

肥培管理の最適化



【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
応用技術室 食品・バイオ担当

TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497
E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.jp

お客様相談室から

～ホームページを活用して通信販売に取り組む場合のポイントは?～

インターネットの急速な普及に伴い、いわゆるネット通販に取り組まれる方が増えています。京都の中小企業においても積極的に取り組まれて、成功されているところも多いです。

インターネットのメリット

- 企業規模に関係なく、広い範囲に迅速に情報発信ができる。
- 都会・地方の差が小さい。

ホームページはその特性上、非常に広い地域の不特定多数に閲覧されるため、対面販売ではめったに売れない特殊な商品であっても、よく売れるということがあります。また、宅配便の発達により、店舗自体は、倉庫のようなものでもネット販売では実績を上げることがもできます。

ネット通販のチェックポイント

- 対面販売で売れる自信商品（技術）であること。
- 事業主又は自社のスタッフがウェブ更新できること。
- 迅速なレスポンスができること。
- 対面販売に比べて、顧客同士の横のつながりが強いため、常に緊張感が必要。
- 新しい情報収集のための人的ネットワークが大切。

当相談室にも、ネット通販立ち上げの相談が増えています。その中で、はっきりしていることは、自前で運営・管理できる能力がないとコストと迅速性で後れをとること、対面販売で売れない物はインターネットでも売れないということです。流通チャンネルを変えたとしても、魅力のない商品売る魔法は存在しません。

相談においてになる方で、ウェブクリエイター丸投げでネット通販を試みられる方も若干ありますが、全面的にプロ任せでは失敗します。インターネットといえども商売のイロハは同じで、チラシ折り込みを頻繁に行う<頻繁な情報発信・提供>、店にはいつも新しい発見がある<創意・工夫>、魅力ある商品<商品・品質の付加価値>、対応が丁寧迅速で信頼できる<信用>、こうした店は繁盛しています。一般の商店街のお店と同じ感覚ではないでしょうか。

今回、当相談室に京都市北区で漬物製造販売をされている池

西芳郎さんが来られました。「京漬物工房いけにし」では、営業方法をはじめ店の経理なども帳簿と算盤による伝統的手法を最近まで行っていました。経営改革を目指し、コンピュータを導入し、池西さん自身がウェブサイトを独力で研究・構築し、商品PRを行っています。「京漬物工房いけにし」のホームページの優れているところは、自分の商品である漬物に対し、こだわりと愛情があり、それをぶっきらぼうではありませんが、真摯な態度で、自身でページを作成されています。これがいい味となって、プロが作った寸分隙のないものにはない渋い魅力となっています。

池西さんがおいでになったのは、自分でホームページを作成してからかなり時間が経過するのに、人気検索エンジンのデータベースに登録がされないということからでした。

ホームページは、作るだけでは誰も見てくれないモノです。多くの人は、調べ物の際には、キーワードで検索し、ヒットした一覧表の中から上位に表示されるサイトを訪問するものです。検索エンジンには、登録型と検索ロボット型とがあります。多くの方にホームページを見てもらうためには、検索エンジンで上位に表示されることが理想です。いろいろ研究はされていますが、これといったテクニックの決定打はありません。というのは、検索エンジンの方で、上位表示にふさわしい内容のコンテンツであるかどうか、常にチェックをかけていますので、有効な方法は毎日のように変わります。

大切なことは、①文章や写真、イラストなどを充実させること、②お客様の声を迅速にホームページに反映させること、③最新のテクニックについての情報を収集することでしょうか。

池西さんは、漬物に対する思い、その原材料である野菜に対する思いを自分の言葉で文章にまとめ、写真を編集しておられます。「京漬物工房いけにし」のホームページは、作り手である池西さんの漬物に対する情熱がビビッドに伝わる、そんな感性豊かなページです。ホームページを作成されたことで、お得意先や取引商社との関係が密になり、様々な効用があるとおっしゃっています。

<http://www.ikenishi.shop-site.jp/>

販売ツールとしてのネット通販。アクセスアップのためには、さまざまな工夫や方法が考えられますので、お気軽にご相談ください。



京都府中小企業技術センター協力会 2005年度「M&T交流会」開催

京都府中小企業技術センター協力会は、会員相互の交流と情報交換の場として、毎年「M&T交流会」を開催しています。今年度は「セミナー」と「会員交流会」の二部形式とし、協力会会員外にも参加を呼びかけ、多くの企業からの参加を得て2月13日(月)に開催しました。

今回のセミナーは、かながわサイエンスパーク(KSP)に入居するプロソニック株式会社の青木茂実社長をお迎えし「オンリーワン技術とマーケット原理」についてご講演いただきました。中小のものづくり企業が自社のコア技術を武器に価格競争に巻き込まれることなく業容を拡大したマーケティング戦略についてのお話は、セミナー参加者から自社経営の参考になったとの声が多く寄せられました。

セミナー終了後は、講師の青木社長様にもご参加いただき、センター協力会正岡会長(朝日レントゲン工業(株)会長)のあいさつで交流会を開会。(財)京都産業21が事務局を務める環の会会長中村様(NKE(株)会長)にもご出席いただき、センター協力会の枠を越え、参加者が和やかに情報交換されるなど、有意義な交流会となりました。

今回は、セミナーの概要を一部抜粋してお届けします。



「オンリーワン技術とマーケット原理」

講師:プロソニック株式会社
代表取締役 青木 茂実 氏

今年は戌年で昨年は酉年、その前の酉年に会社をスタートして13期連続でプラス成長を果たしています。私は、ある半導体製造装置メーカーで十数年間、

明けても暮れてもシリコンの平面研磨をしておりました。得意分野は脆性材料、つまり金槌で叩いて割れる材料を加工することです。

超音波振動を利用した加工というオンリーワン技術を核に一人で会社を起し、零細企業からの脱却を目標にやってきました。グローバル競争の時代に一つの技術だけで企業が伸びようと思うと限界がありますが、一つの技術だけでも一生懸命やれば出来ること、その中で得たターゲットマーケットの考え方をお話させていただきます。

会社を起した当初は、自社のモノは良いとの自信があるのに、なかなか売れません。しかし、お金もない小さい会社ですから、買ってくれるところならどこでもよいとモノを売って代金を回収できなかつたら当然困ります。そこで、回収するに当たって回収負担のないお客様に売ってほしいというのが、当社のマーケティングの発想です。

「2-6-2の発想」というものがありまして、世の中には、全体を10とすると優れたものが2、普通のが6、劣ったものが2ありまして、製品の価格帯についても高品位だけれども高価格、リーズナブル、低価格と分けられますが、全体の2割の優れた企業を対象に、高品位だけれども高価格である製品を売ってほしいという発想です。実際にはもっと絞り込んで、5パーセントの例外に入るような超一流企業にモノを売って、この企業以外のところには売るのを止めよう、ハイプライスでハイクオリティな製品以外は作らないと決めたのです。小さい会社でも良い品質のモノを選んでアセンブリすれば、自ずと優れたものになります。高いものを集めれば、高いものになってしまうという論理なのです。

工作機械は、あたかもプラモデルのように良い部品を使えば勝手に良いものになるという時代になって来ています。私のよ

うに超音波を生かした技術等、何かを付加しないと、付加価値が出ないような時代になっています。

オンリーワン技術で付加価値が付くと、競争相手がいないわけではないのですが、勝手気ままに売値を付けられるわけです。商品流通が多いものはみかけ価格というのが出てくるのですが、商品流通が少ないものはなかなか適正価格が付けられませんので、そのパフォーマンスで値段が決まってしまう。お客様のところへ行くと、「御社の機械は高いね。」と言われる。確かに高いです。分かっている高くしているのです。

どのお客様にでも呼ばれるたびに出向いていると、経費ばかりかかってしまいます。顧客のランクをしっかりと付けて、売ものの価格をしっかりと決めて販売していく、他社があまりやっていないモノを着実に作っていくことが大切です。皆様の会社でもターゲットであるプライスを決め、ターゲットである顧客を決めれば自ずと必要でない営業は省かれ、見積のポテンシャルが上がってくると思います。大体40枚見積を書いて1枚ぐらいいか決まらなかったものが、ターゲットを絞ると20枚書いて1枚、私のところでは、今は大体15枚書いて一つが決まるぐらいに確率が上がってきています。書いて無駄骨になるとやる気も失せてしまいますので、出した見積はすべて決まるよう努力しています。



プロソニック株式会社の概要

1993年に青木茂実社長により創業、かながわサイエンスパークに入居するベンチャー企業。超音波を用いた加工技術をコア技術とし、セラミックスやシリコン基盤等の脆性材料に穴をあけ、研削を行う超音波加工機及び樹脂等を溶着する超音波溶着機、関連するシグ・工具の開発・販売、アフターサービスを行う。設計・製造部門を外注するファブレスメーカーである。

※講演の概要については、ホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/kyouryokukai/koryu/kekka2005.htm>をご覧ください。

センター協力会会員募集中

詳しくは、ホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/kyouryokukai/kyouryokukai.htm>をご覧ください。

平成18年度商工部当初予算の概要

京都府の平成18年度一般会計予算の総額は、7,988億2,200万円（対前年比2.2%減）となっています。これは、知事選挙を控えた、いわゆる骨格的予算となっています。

このうち、商工部の一般会計予算は612億6,117万円と全体の7.7%を占めており、依然として厳しい経済状況のもとにある中小企業の経営安定を図るための金融支援をはじめ、昨年制定した「伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、京都の地場産業である和装・伝統産業等の集積による振興に取り組むとともに、戦略的な企業誘致と京都経済の国際化、新産業の創出・育成、また国内外の観光客に向けての京都への誘客促進による観光振興など、活力ある京都型産業の創成と地域経済の再生に向けた施策の推進を目指しています。

区 分		18年度当初予算
京 都 府	一 般 会 計	7,988億2,200万円
	特 別 会 計	2,458億 635万円
	公 営 企 業 会 計	204億 1,226万円
商 工 部	一 般 会 計	612億6,117万円
	中小企業経営基盤強化資金助成事業特別会計	24億9,336万円

中小企業への総合的な支援

●中小企業金融対策 預託金 510億円

中小企業の経営の安定を図るための中小企業融資制度を継続して実施するとともに、厳しい経営環境の中で健闘している府内中小企業者の再生に向けた取組みを支援するため、昨年度創設した「中小企業再生支援融資」を引き続き実施します。

●地域ビジネスサポート推進事業 7,712万円

中小企業者などに対する創業・経営革新支援を重点的に行ってきた「地域中小企業支援センター」の機能を踏襲しつつ、地域経済圏の拡大やニーズの高度・多様化などへの対応や、地域の活性化を積極的に支援する機能を兼ね備えた、地域経済の広域拠点となる「地域ビジネスサポートセンター」の設置を支援します。

●京都ブランド商標強化推進事業 200万円

商標法の改正に伴い、「地域団体商標」の登録が可能になることから、事業者、関係団体、行政が一体となったオール京都のシステムを構築し、新たな地域ブランドの登録、京都ブランド商標の保護などの事業を支援し、京都ブランド商標の開発・育成・保護・拡大を図ります。

和装・伝統産業の振興

●匠の公共事業 1億860万円（うち商工部分1億200万円）

「京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、和装・伝統産業振興の基礎づくり（職人さんの仕事づくりや次代を支える人材の育成など）を積極的に推進します。

●伝統と文化のものづくり産業振興補助金 1億円

「京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、伝統と文化のものづくり産業の集積等による振興を図るための支援制度を創設します。

●伝統と文化のものづくり産業推進事業 300万円

京都の伝統と文化のものづくり産業を、現在の生活にふさわしい形で発展させていくため、「京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、府民、事業者、行政の三者が一体となった取組みを推進します。

●丹後織物ルネッサンス事業 1,500万円

日本最大の絹織物産地である丹後地域に蓄積した高度な技術を活用した新しい素材・商品の開発を総合的に実施することにより、丹後織物のブランド化を促進し、産地の復興を図ります。

地域経済を支える商店街・小売商業の振興

●商店街活性化支援事業 4,500万円

少子高齢化や安心・安全なまちづくり、環境保全等に対応した商業基盤施設の整備に対する助成（商業基盤リノベーション事業）、魅力ある商店街づくりを目指した商店街施設設置等への助成、商店街イルミネーション、ライトアップ等のモデル事業に対する助成を行います。

●商店街・事業者チャレンジ総合事業 4,400万円

京都らしい商いとまちの賑わいの実現や中心市街地における商業活性化を目指し、商店街団体や事業者等が取り組むソフト面の各種事業を支援するほか、商店街等中心市街地において新規開業を希望する者に対し、総合的なサポートを実施します。

●まちなか再生推進事業 700万円

現在、国において進められているまちづくり三法の見直しに合わせ、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりや中心市街地の商業活性化を一層促進するための各種事業を実施します。

地域の特성에 応じた新産業育成・企業誘致と経済交流・貿易の振興

●試作産業創出事業 350万円

国内外に「試作のメッカ京都」を大きく発信し、試作プラットフォーム全体の情報発信を行うとともに、京都ならではの試作グループ結成の動きを加速化することで、さらなる中小企業の試作産業への積極的参加を促進します。

●健康創出産業振興事業 2,300万円

大学・関連企業の集積等、京都の優位性を生かし、次代の京都産業を牽引する健康創出(ウェルネス)産業を「第2のケータイ産業」として育成します。

●産学公連携研究開発資金支援事業 1億6,000万円

中小企業を含む企業と大学のグループに対して資金支援を行うことによって大学の技術移転や新産業・ベンチャーの育成、中小企業のスキルアップを図る産学公連携による共同研究開発を促進し、次代の京都経済を担う新産業創生や新分野開拓を図ります。

●創援隊推進事業 550万円

ボランティアで販路開拓を中心にベンチャーを支援する応援団「創援隊」をネットワーク化するとともに、メンバーとベンチャー等との出会いの場を提供します。

●京都産業立地戦略21特別対策事業費補助金 7億5,000万円

産業のグローバル化が進み、地域間競争が激しくなる中で、戦略的に企業誘致を進めるため、「雇用創出のための企業立地・育成条例(略称)」に基づく府税の特例措置や「雇用のための企業立地促進融資制度」と併せ、補助金を効果的に活用することにより企業誘致を推進します。

●雇用のための企業立地促進融資制度 預託金 25億円

「京都産業立地戦略21特別対策事業費補助金」の対象となる企業に対し、企業立地に必要な資金を低利・長期固定金利で融資する制度を実施します。

●京都経済国際化推進事業 1,250万円

京都府への外国企業誘致の促進、京都府企業の海外ビジネス展開の支援など京都経済の国際化を推進します。

観光産業の振興

●京都・花灯路推進事業 2,200万円

閑散期、夜間の観光誘客を図るため、京都の歴史的文化遺産をつなぐルートを風情のある灯りでライトアップし、寺院・神社における夜間拝観等とタイアップしたイベントを、嵯峨・嵐山地域及び東山地域で開催します。また、照明設備を観光や地域振興の催しに貸し出し、灯りの催事を奨励します。

●外国人観光客倍增推進事業 1,738万円

国のビジット・ジャパン・キャンペーンや近隣府県等と連携して海外向けの観光プロモーション活動等を実施することにより、外国人観光客誘致を推進し、国際観光の振興を図ります。

●京都観光外国人ウェルカムサービス事業 500万円(うち商工部分300万円)

京都駅における外国人旅行者への観光案内について利便性の向上を図るとともに、京都府国際センター及び京都ツーリストインフォメーションを訪れる外国人観光客を主な対象として、京都の情報を逐次提供できる体制を整備し、安心・快適な滞在をサポートします。

安心・安全な消費生活の実現と適正計量の確保

●くらしの安心・安全ネットワークづくり事業 600万円

広域化、複雑化、悪質化する消費者問題へ迅速に対応し、消費者被害の未然防止・早期発見・早期救済を図るため、相談機能の充実、人材育成等の体制整備や消費者への情報提供、NPO法人等各種団体と協働した府民参画による「くらしの安心見守り隊活動」等を一層推進し、「地域安心力」を高め、安心・安全な消費生活の実現を目指します。

※この内容については、京都府のホームページ→

<http://www.pref.kyoto.jp/zaisei/yosan/tousyo18/shoukou.pdf> でご紹介しています。

May 2006.5.

18 ● 京都品質工学研究会
(木) 時間：13:10～16:40
場所：京都府産業支援センター5F

22 ● ものづくり研修 (実践編)
(月) 時間：9:00～17:00
▼ 場所：京都府産業支援センター5F

23
(火)

お客様相談室 (総合相談窓口)

○京都府産業支援センターの相談窓口として、ワンストップで皆様からの経営及び技術の相談等にお応えして行くため「お客様相談室」を設置しておりますので、ご利用ください。

TEL 075-315-8660 FAX 075-315-9091

4月3日から京都府・市の融資制度が見直されました。連帯保証人要件や保証料率の見直しにより、中小企業の皆様の資金調達を応援します。詳しくは、お客様相談室(075-315-8660)や現在お取引のある金融機関または京都信用保証協会(075-314-7221)までお尋ねください。

専門家特別相談日

(毎週木曜日 13:00～16:00)

創業・ベンチャー企業および経営の向上をめざす中小企業の方々が事業展開を図る上での、様々な問題解決について、専門家相談員が無料で相談にお応えする「専門家特別相談日」(毎週木曜日)を開設しています。

○まずは、(財)京都産業21 お客様相談室までお電話でご予約ください。
TEL 075-315-8660 FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日

(毎月第二火曜日 13:30～16:00)

取引に関する法律問題や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業に対し、顧問弁護士による無料法律相談(毎月第二火曜日)を下記のとおり行っておりますので、お気軽にご利用ください。

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 産業振興部 マーケティング支援グループまでご連絡ください。
TEL 075-315-8590 FAX 075-315-9240

海外ビジネス特別相談日

(毎週木曜日 13:00～17:00)

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。
TEL 075-325-2075 FAX 075-325-2075

インターネット相談実施中!

京都府中小企業技術センターでは、中小企業の皆様が抱えておられる技術上の課題をメール等でお答えしています。お気軽にご相談ください。

▶ <http://www.mtc.pref.kyoto.jp/consul/consul.htm>

メールマガジン「M&T NEWS FLASH」(無料)をご活用ください!

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆さまの情報源として是非ご活用ください。

ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

▶ http://www.mtc.pref.kyoto.jp/mtnews/get_mtnews.htm

京都府中小企業技術センター協力会会員募集中

当会にご入会いただけますと、情報誌「クリエイティブ京都M&T」をはじめ、中小企業の皆様のお役に立つ各種情報をお手元にお届けするとともに、会員相互の交流を図ります。

これまでも、ユニークな交流会事業やバーチャル見本市を実施しています。

詳しくは、ホームページ <http://www.mtc.pref.kyoto.jp/kyouryokukai/kyouryokukai.htm> をご覧ください。

— 知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権! —

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 京都産業21 <http://www.ki21.jp/>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9091
けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202
北部支所 〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波139-1(京都府織物・機械金属振興センター内)
TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

編集協力/ショウワドゥ・イープレス株式会社

京都府中小企業技術センター <http://www.mtc.pref.kyoto.jp/>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551
けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202